

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月14日

上場会社名 株式会社ミクシィ 上場取引所 東
 コード番号 2121 URL <http://mixi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 仁基
 問合せ先責任者 (役職名) 経営推進本部長 (氏名) 大澤 弘之 (TEL) 03-6897-9500
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	135,436	△5.3	47,858	△15.3	48,206	△14.0	25,126	△35.3
29年3月期第3四半期	142,990	△4.9	56,511	△16.0	56,071	△16.3	38,864	△11.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 25,115百万円(△35.3%) 29年3月期第3四半期 38,790百万円(△11.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	320.33	319.61
29年3月期第3四半期	471.42	471.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	176,315	153,791	86.9
29年3月期	176,974	150,529	84.9

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 153,156百万円 29年3月期 150,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	56.00	—	91.00	147.00
30年3月期	—	64.00	—		
30年3月期(予想)				57.00	121.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	△3.5	70,000	△21.4	70,000	△20.9	40,200	△32.9	513.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	78,230,850株	29年3月期	81,879,450株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	229,300株	29年3月期	2,335,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	78,439,380株	29年3月期3Q	82,440,989株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらを業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、平成30年2月14日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	142,990	135,436	△5.3%
営業利益(百万円)	56,511	47,858	△15.3%
経常利益(百万円)	56,071	48,206	△14.0%
親会社株主に帰属する四半 期純利益(百万円)	38,864	25,126	△35.3%

当第3四半期連結累計期間におけるインターネット関連業界においては、株式会社MM総研の調査によると、2017年度上期のスマートフォン出荷台数は前年同期比12.9%増加し1,373.6万台となりました。国内携帯電話端末の総出荷台数に占めるスマートフォン出荷台数は84.0%となっております。

このような経済環境の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は135,436百万円（前年同四半期比5.3%減）となりました。また、営業利益は47,858百万円（前年同四半期比15.3%減）、経常利益は48,206百万円（前年同四半期比14.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25,126百万円（前年同四半期比35.3%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、事業セグメントの利益の測定方法は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値(EBITDA)としております。

① エンターテインメント事業

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	131,805	124,559	△5.5%
セグメント利益(百万円)	60,255	51,774	△14.1%

スマートフォンネイティブゲーム「モンスターストライク」を主力とするエンターテインメント事業においては、国内外で、TVCMや屋外広告等のプロモーション、eスポーツ促進を含むリアルイベントの実施、グッズの製作、映画や人気アニメとのタイアップ、オリジナルアニメの配信や劇場版公開などに加え、平成29年5月にはグッズ販売等を行う常設店舗を東京・渋谷にオープンいたしました。また、ゲーム利用者数は平成29年1月には全世界で4,000万人を突破しております。ユーザーの皆様の期待に応えるべく、サービスのライフタイムの長期化を目指し、アプリ内外でのユーザー還元の実施、映像・ソフトウェアの充実、マーチャダイジング等のゲーム以外の領域の確立、新規タイトル等の開発を行うことによって、エンターテインメント事業のさらなる発展を図っております。

この結果、当事業の売上高は124,559百万円（前年同四半期比5.5%減）、セグメント利益は51,774百万円（前年同四半期比14.1%減）となりました。

② メディアプラットフォーム事業

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	11,184	10,876	△2.8%
セグメント利益(百万円)	1,484	1,976	33.1%

メディアプラットフォーム事業では、B2C及びC2Cサービスにおいて新しい文化を創るサービスを生み出し続けることを目指しております。家族向け写真・動画共有アプリ「家族アルバム みてね」においては、平成29年10月には利用者が200万人を突破、平成29年7月より英語対応も開始しております。新規事業の立ち上げを加速すべく先行投資を実施しております。チケットフリマサービス「チケットキャンプ」につきましては、平成29年12月27日付の「調査委員会の調査報告書受領および今後の対応につきまして」にてお知らせしましたとおり、業務を完全に停止し、サービス提供を終了することとなりました。これにより、当第3四半期連結会計期間におきまして、のれん償却費7,597百万円、固定資産の減損損失131百万円を特別損失として計上いたしました。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値(EBITDA)であるため、影響はございません。

この結果、当事業の売上高は10,876百万円(前年同四半期比2.8%減)、セグメント利益は1,976百万円(前年同四半期比33.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第3四半期連結会計期間の財政状態は、資産については流動資産が156,738百万円(前連結会計年度末比2,608百万円増加)となり、主な要因としては、売掛金の入金による現金及び預金の増加があげられます。固定資産は19,577百万円(前連結会計年度末比3,266百万円減少)となり、主な要因としては、のれんの減少があげられます。

負債については、流動負債が22,448百万円(前連結会計年度末比3,852百万円減少)となり、主な要因としては、未払法人税等の減少があげられます。純資産は153,791百万円(前連結会計年度末比3,261百万円増加)となり、主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比べて2,458百万円増加し、136,736百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は29,149百万円(前年同四半期は9,304百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が40,803百万円となったこと、法人税等の支払による減少24,909百万円、消費税等の支払による減少728百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は4,791百万円(前年同四半期は1,448百万円の使用)となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出3,549百万円、有形固定資産及び投資有価証券の取得による支出2,214百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は21,899百万円(前年同四半期は22,997百万円の使用)となりました。これは、自己株式の取得による支出10,195百万円や配当金の支払11,703百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成29年5月10日に公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成29年12月27日に公表しました「特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、例年第4四半期に季節的な要因による売上高の増加が見込まれていることから、上記の連結業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	134,278	136,736
売掛金	16,214	16,797
商品	291	406
繰延税金資産	864	191
その他	2,487	2,610
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	154,130	156,738
固定資産		
有形固定資産	1,286	1,816
無形固定資産		
のれん	8,683	—
その他	271	364
無形固定資産合計	8,954	364
投資その他の資産		
投資有価証券	2,559	3,391
繰延税金資産	8,994	9,437
その他	1,051	4,569
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	12,603	17,396
固定資産合計	22,844	19,577
資産合計	176,974	176,315
負債の部		
流動負債		
未払金	5,713	8,201
未払法人税等	11,347	1,216
未払消費税等	865	136
賞与引当金	1,560	283
その他	6,814	12,609
流動負債合計	26,300	22,448
固定負債		
繰延税金負債	50	7
その他	93	68
固定負債合計	143	76
負債合計	26,444	22,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,698	9,698
資本剰余金	10,941	9,668
利益剰余金	139,914	135,007
自己株式	△10,525	△1,450
株主資本合計	150,029	152,925
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	242	231
その他の包括利益累計額合計	242	231
新株予約権	253	630
非支配株主持分	4	4
純資産合計	150,529	153,791
負債純資産合計	176,974	176,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	142,990	135,436
売上原価	17,171	16,934
売上総利益	125,818	118,501
販売費及び一般管理費	69,306	70,643
営業利益	56,511	47,858
営業外収益		
受取利息	1	2
為替差益	0	10
投資事業組合運用益	—	497
その他	12	35
営業外収益合計	14	546
営業外費用		
支払利息	—	0
投資事業組合運用損	85	—
支払手数料	368	196
その他	0	2
営業外費用合計	454	199
経常利益	56,071	48,206
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	—	346
関係会社株式売却益	20	—
新株予約権戻入益	0	—
特別利益合計	21	348
特別損失		
固定資産除売却損	5	22
減損損失	3	131
のれん償却額	—	7,597
特別損失合計	8	7,751
税金等調整前四半期純利益	56,084	40,803
法人税、住民税及び事業税	17,980	15,490
法人税等調整額	△759	186
法人税等合計	17,220	15,677
四半期純利益	38,863	25,125
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,864	25,126

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	38,863	25,125
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△73	△10
その他の包括利益合計	△73	△10
四半期包括利益	38,790	25,115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,791	25,115
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	56,084	40,803
減価償却費	262	526
減損損失	3	131
のれん償却額	1,317	8,683
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△674	△1,276
受取利息	△1	△2
支払利息	—	0
為替差損益 (△は益)	△7	△1
支払手数料	—	196
投資事業組合運用損益 (△は益)	85	△497
固定資産除売却損益 (△は益)	5	19
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△222	△115
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△346
関係会社株式売却損益 (△は益)	△20	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,192	△582
未払金の増減額 (△は減少)	1,402	1,665
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,465	△728
その他	7,348	5,585
小計	52,922	54,057
利息の受取額	0	0
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△43,619	△24,909
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,304	29,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△480	△963
無形固定資産の取得による支出	△13	△286
投資有価証券の取得による支出	△899	△1,251
投資有価証券の売却による収入	—	445
投資有価証券の分配による収入	210	732
投資有価証券の払戻による収入	—	75
敷金及び保証金の差入による支出	△171	△3,549
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△94	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△9	—
その他	10	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,448	△4,791
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	4	—
自己株式の取得による支出	△12,460	△10,195
配当金の支払額	△10,540	△11,703
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,997	△21,899
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△15,145	2,458
現金及び現金同等物の期首残高	126,316	134,278
現金及び現金同等物の四半期末残高	111,170	136,736

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年4月21日開催の取締役会決議に基づき、平成29年4月28日付で自己株式2,201,400株の消却、平成29年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,542,700株の取得を行いました。また、平成29年8月31日付で自己株式1,447,200株の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,450百万円となっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	メディアプラッ トフォーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	131,805	11,184	142,990	—	142,990
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3	3	△3	—
計	131,805	11,188	142,994	△3	142,990
セグメント利益	60,255	1,484	61,740	△5,228	56,511
その他の項目					
減価償却費	101	44	146	116	262
のれん償却額	—	1,317	1,317	—	1,317

(注) 1. セグメント利益の調整額△5,228百万円には、報告セグメントの減価償却費△146百万円及びのれん償却額△1,317百万円並びに各セグメントに配分していない全社費用△3,765百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	メディアプラッ トフォーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	124,559	10,876	135,436	—	135,436
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	124,559	10,876	135,436	—	135,436
セグメント利益	51,774	1,976	53,751	△5,893	47,858
その他の項目					
減価償却費	224	45	270	256	526
のれん償却額	—	1,085	1,085	—	1,085
のれん償却額(特別損失)	—	7,597	7,597	—	7,597

(注) 1. セグメント利益の調整額△5,893百万円には、報告セグメントの減価償却費△270百万円及びのれん償却額△1,085百万円並びに各セグメントに配分していない全社費用△4,537百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

メディアプラットフォーム事業セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に株式会社フンザが運営するチケットキャンプの業務を停止し、サービス提供を終了する意思決定を行ったことに伴い、減損損失を計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては131百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

メディアプラットフォーム事業セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に株式会社フンザが運営するチケットキャンプの業務を停止し、サービス提供を終了する意思決定を行ったことに伴い、のれんを全額償却いたしました。

なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては7,597百万円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。